

I 総 説

1 苫小牧市のあらまし

(1) 位置

本市は、北海道の中央南西部、石狩低地帯の南、東経 141 度 36 分、北緯 42 度 37 分に位置します。

市域の周囲は、東に厚真町、安平町、西に白老町、北は千歳市と接し、太平洋を南に臨んでいます。

(2) 面積

行政面積は、東西 39.9km、南北 23.6km、周囲 124.5km にわたる 561.58 km²です。

(3) 地勢

本市の北西には、北海道の天然記念物に指定されている珍しい溶岩円頂丘（ドーム）を持つ標高 1,041m の樽前山や、火山の噴火によってできたカルデラ湖で、日本最北の不凍湖である支笏湖があり、ともに支笏洞爺国立公園を構成しています。

東には、渡り鳥の中継地として知られているウトナイ湖をはじめ、大小の湖沼や湿原を有する勇払原野が広がり、雄大な自然環境に恵まれています。

また、南は太平洋に臨み、海岸線は海流の波浪作用によって帯状にごく細長く砂丘地帯が形成されています。

このうち北西部は標高 20m 程度から次第に高度を増す台地状で山林に覆われ、また南部及び北東部は石狩低地帯に連なる沖積平野で、市街地を中心として扇状に開いた地形を形成しています。

(4) 気候

親潮寒流の影響を受けて 6 月から 8 月には霧がかかりますが、全般に温暖で冬季は降雪量が少なく、比較的晴れた日の多い太平洋側気候となっています。

気温は真夏でも 25 度を超すことは珍しく、真冬の最低気温もマイナス 15 度以下になることはまれです。

風は年間を通して平均 3m 程度の風速で比較的弱く、また年間の平均降水量は 1,300mm 前後です。

(5) 人口

昭和 23 年、人口 33,131 人で道内 13 番目の市として市政を施行して以来、特に昭和 38 年の苫小牧西港の開港を契機として急激な人口の増加を続け、昭和 44 年 7 月には人口 10 万人を突破しました。

令和 2 年 3 月末日現在、人口 170,555 人、世帯数 89,602 世帯、高齢化率は 29.08% です。